



帯広市立明和小学校 学校だより  
Obihiro Meiwa Elementary School

# 明和の子

みんながえがお みんなでみがく みんながつながる

《学校教育目標》

- 明るく豊かな心を持つ子ども
- 和やかで思いやりのある子ども
- のびのびとよく考える子ども
- こんきよくがんばれる子ども

令和3年3月24日 No.870

文責 岸梅哲郎

## 飛び立とう 新たな世代の てっぺんへ

### 卒業・修了おめでとうございます

### お世話になりました

3月24日、今年度のすべてを修了しました。学校では、このような状況の中で、様々なことを変更し「今できることをしっかりとやる」ということを継続して行い、積み重ねてきました。その結果、子どもたちには、自らを律する気持ちが生まれ、マスクをつけよう、手を洗おう、密にならないようにしようということが、当たり前になるようになりました。今まで楽しく活動できたことができなくなっても、代わりに別の楽しみ方を見つけて過ごすことができました。あらためて、子どもたちの適応していく力に感心しました。

特に6年生は、一人一人が自分の役割を果たし、今できることを精いっぱいやりきろうという気持ちをもって、学校生活を過ごすことができました。気持ちを切らすことなく継続してこの一年を過ごした6年生の力はすごいです。順応性や柔軟性、我慢する力、思いやる心、そして困難を乗り越える力など、今までの6年生には比べ物にならないほどの力を得ることができました。これから成長し、未来を生きるためのとても大きな財産になることでしょう。とても楽しみです。

在校生においても同様に力をつけてきました。4月になると学年が上がります。それぞれの学年の中で、しっかりと活躍してほしいと思っています。

「えがお かがやき つながり」のてっぺんを目指して取り組んできました、令和2年度が幕を閉じます。子どもたちだけでなく、保護者の皆様にも我慢を強いてきたこと、本当に残念でなりません。それにもかかわらず、スケートのひもしぼりや参観日の限られた時に、子どもたちの様子をご覧になっていただきありがとうございました。

明和小学校は、30周年を終え、新たな気持ちで走り出します。しっかりと区切りをつけてくれた子どもたち、ご協力いただいた保護者の皆様に感謝し、お祝いとお礼といたします。

本当にありがとうございました。

この春の退職者及び異動予定者をお知らせいたします

大変お世話になりありがとうございました。

## 4月の主な行事予定

2日(金)	P T A新旧三役会議
7日(水)	学級・担任発表 (午前9時から午後4時) 新6年生登校日
8日(木)	着任式・始業式・入学式
19日(月)	参観日週間 ～23日(金)
27日(火)	保護者面談週間 ～5/7(金)

\* 4月7日の学級発表は、3・5年生が学級編成、他の学年は担任発表を行います。

\* 次年度も全校参観日は行いません。参観日は分散して開催します。日程は後日お知らせします。

また、P T A総会も書面開催となりますのでご了承ください。

## 交通安全について

今年もにこにこパトロールの皆さん、保護者の皆さん、大谷高校野球部の皆さんによる朝の見守り活動のおかげで、子どもたちは無事に登校することができました。

特に、にこにこパトロールの皆さんは、気候の良い日ばかりでなく、暑い日、寒い日、風が強い日、激しい雨や雪で濡れてしまう日、200日以上も子どもたちの見守りをしていただきました。

本当にありがとうございました。

子どもたちには、春休み中も交通安全に十分注意して、過ごしてほしいです。そのために3つお願いがあります。

- ① 雪玉を投げて遊ばない。
- ② 横断歩道では、歩行者用信号が青になるまで、道路から離れて待ち、必ず左右の確認をしてから渡る。
- ③ 自転車に乗るときは、必ず点検してから乗る。

以上の指導をご家庭でもお願いします。

また、今年度帯広市が定期的に街頭指導をした結果、小学生には約250件の指導をして、その多くが、交通ルールに係わる指導とゲームコーナーでの指導でした。春休みは子どもたちだけで出かけることが多くなります。必ずひと声かけてくださるようよろしくお願いします。



6年生が「感謝の木」をつくって、玄関に掲示しています。在校生への激励や、お世話になった先生方への感謝の言葉で満開です。

6年生の皆さんありがとうございました。

## 6年生が校舎をきれいにしてくれました



卒業間近の6年生が、今まで使っていた学校を感謝の気持ちを込めてみがきました。

## 「いじめ防止啓発ポスター」



帯広市が主催した取組に、本校の児童もポスターを書いて応募しました。いじめは絶対にいけないことだと、改めて訴える作品ばかりでした。いじめをなくすための輪が、これからもより大きく広がるように、児童も教職員も保護者の皆さんも、全員で取り組んでいきましょう。